

## 【大崎市立古川西小中学校応援団の構成と役割】

### 応援団とは…？

保護者、教員、地域の方々+趣旨に賛同する方から構成され、  
「みんなでつくり、育てる、みんなの学校」という考えのもと、  
協力し合う集まり。

#### ① 地域コーディネーター

→保護者と学校と諸団体(地域)の架け橋。  
より良い教育環境作りのお手伝いをする。

#### ② 地区サポーター

→事務局会議に出席し、企画の検討や予算の執行状況を確認する。  
応援団での活動費を監査する。(R5年度は、芋煮会等)

#### ③ 学年サポーター

→主に学年行事の企画・運営を行う。  
担任と相談して企画書を作り、事務局会議で提案する。  
当日に向けて内容をまとめ、役割分担をする。  
学校徴収金の監査をする。

#### ④ 学校支援ボランティア

→学校側のニーズに合わせ、校内外の環境整備や学校行事のお手伝い、学習活動の  
支援等をする。  
あくまでもボランティアなので、出来る人・やりたい人が手を挙げ  
行う。  
活動時のけが、事故等に保険が適用される。  
(※大崎市生涯学習課の「学校支援ボランティア推進事業」要領より)

## 【各会議の趣旨と参集範囲】

### ①事務局会議(隔月1回開催)

→予算報告や、学年・有志活動の企画書を検討する場。

参加者:地域コーディネーター、地区サポーター、  
校長、副校長、教頭、教務。

※学年行事の企画書の提出があれば学年サポーターも参加。

### ②応援団定例会議(年4回開催)

→地域の方を交えて、応援団の活動内容を理解してもらい、ご意見等を伺う場。

参加者:学校職員、関係団体代表、市教育委員会担当、  
地域コーディネーター、保護者。

### ③モーニングミーティング(2か月に1回程度開催)

→学校が広く保護者からの意見を聞き取る場。

保護者からの意見をもとに、教育活動の向上や改善を図るために行う。

参加者:希望する保護者、校長、副校長、教頭。

### ④カタリバ(※R6年度から開催、今年度は5回程実施予定)

→保護者間での情報共有や、より充実した応援団の活動を推進するため、積極的な意見交換を行う場。

参加者:希望する保護者、地区サポーター。

※こちらに関しては、後日参加に関する案内を出す予定です。

### ⑤4地区合同サポーター会議

→必要に応じて、参集して開催。主に状況確認のため行う。

参加者:地区サポーター。

### ⑥学校支援ボランティア会議(不定期開催)

→必要に応じて、参集して開催。主に状況確認のため行う。

参加者:学校支援ボランティア。

### ⑦地域連携会議

→地域関係団体(地区振興協議会や公民館など)が学校と連携を図り、取り行う事業に対する検討や、情報共有を行う場。

参加者:学校代表職員、関係団体代表、地域コーディネーター。